



教育ローンと奨学金

お子様の大学進学を考えるご家庭において、入学金や授業料等を貯蓄で賄いきれない場合は、金融機関の教育ローンや日本学生支援機構などの奨学金の利用を検討されるケースが多いようです。今回は、「教育ローン」と「奨学金」の違いについてまとめてみましたので参考にしてみてください。

1. 教育ローンと奨学金の違い

金融機関で扱っている教育ローンと日本学生支援機構の奨学金（貸与型）の特徴を以下の表にまとめてみました。

	教育ローン	奨学金(貸与型)	
		第一種(無利子)	第二種(有利子)
返済する人	学生の保護者	学生本人	
利息	あり	なし	あり
返済期間	任意の返済期間を設定できますが、商品により選択可能な期間が異なります。(1年～16年等)	定額返還方式は、貸与総額により決定。 (最長 20 年)	
返済猶予	あり(商品により、在学中は利息のみ返済でも可能です)	あり(在学中無利息)	
受取方法	証書貸付型 希望額を一括で受け取れます。 カードローン型 必要時に ATM にて出金できます。	毎月一定額が振り込まれます。	
借入限度額	商品により異なります。 (10万円～1,000万円等)	進学先や通学形態によります。 2万円～6万4,000円/月	
申込手続き	金融機関へ随時申込できます。店頭へ申し出る方法や、WEB から申込できる(来店不要)商品もあります。	指定の時期に学校を経由して申込みます	

教育ローンと奨学金では、返済義務が保護者にあるか、又は学生本人にあるかが大きな相違点となります。また、教育ローンでは多くの場合、借入当初にまとまった金額が借りられますが、奨学金では入学後、毎月一定額を受け取るようになります。

2. 教育ローンのメリット

金融機関で借りる教育ローンは、保護者が借り入れることとなりますので、返済義務は保護者が負い、子どもに返済の負担をかけません。また、資金の使い道は、授業料等の「学費」だけでなく、一人暮らしをするにあたってのアパートの初期費用や準備する学用品など幅広く適用できます。さらに、入学前でも借り入れが可能なため、受験費用や入学前に払い込む入学金、初年度の授業料に充てることができます。奨学金は申し込み時期が限られていますが、教育ローンはいつでも申し込みができますので、入学する前の早い段階から申し込めば、進学費用の支払い目処を立てられます。

当金庫でも、各種の教育ローンをご用意しております。ご検討の際は、お気軽にお取引店舗までご相談ください。

教育応援ローン <一括借入プラン> <カードローンプラン>

スマートフォンでお手続き完結！
アプリバンキング専用の教育ローン



ご利用限度額	WEB で完結！
50 万円～500 万円	お申込みは アプリバンキング から 

教育ローン「新芽」

お使いみちにに応じて選べる2タイプ
受験前でも仮審査できます



入学時のまとまった資金に

証書貸付タイプ

メリット1


まとまった額を一括でお借入
初年度の入学金+授業料
にも対応できます

メリット2


毎月一定額を
口座から引落とし
計画的な返済が
可能です

メリット3


在学中は利息のみの
お支払いも可能
卒業後に余裕をもって
ご返済いただけます

入学後もかかる費用に

カードローンタイプ

メリット1


在学中は必要な時に
ATMでくり返しお借入可能
急な仕送りの要求にも
対応できます

メリット2


ATMで
ご返済も可能
平日はお仕事で窓口に行けない方も安心です

メリット3


進学時には
延長可能
進学後も引き続き
ご利用いただけます

令和6年8月1日現在

